



埼玉県舞踊協会
NO.23

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：津田 郁子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

「春に想う」

埼玉県舞踊協会会長 津田郁子

暖冬で2月から各地で、桜もちらほら咲いています。暗いニュースが続くなか、埼玉県舞踊協会の年中行事は、担当の先生方のご努力で、それぞれに成果を挙げていることは、ささやかですが、明るい素晴らしいことだと思えます。教育の見直しは、現在の大きな課題ですが、押し付けることなく、個々の能力を發揮することは、それほど容易ではなさそうです。多少の明るさは、少子化にほんの少しですが、歯止めがかかりそうな、傾向も見られるようです。

バレエやダンスの学習は、昔から、礼儀やマナーと結びついて発展してきました。19世紀の良家の子女は、お行儀の為にダンスを学び、異性とどう接するか学びました。衣服や身だしなみなど、ダンスを踊ることで、自然に身につけていきました。バレエでもテクニクと同様、マナーは大切です。ロシアバレエの公演で、カーテンコールに現れたバレリーナの着替えた衣服などにも批評が及んだと聞きます。利己的損得に狂奔し、本能のままに動物的に行動することは、バレエやダンスとは最も遠いところにあると思います。世界中の民族舞踊、伝統舞踊、バレエやモダンダンスには、いずれも美しいお辞儀が見られます。生きる喜びと感謝の心が結晶化したのでしよう。

舞踊の技術を審査すると思われる埼玉県舞踊協会の全国舞踊コンクールにおいても、結果的には、テクニクのみでなく、ダンスのなかにある審美性や舞台マナーを大切にしたいものを選びます。舞台に立つ努力とは、人に不快感を与えない積み重ねに依るものですから、楽しく舞踊を学びながら、礼儀と感謝の心を忘れないに育つは大切です。バレエやダンスの学習は、技術の背後にある人間性を学ぶことであり、現代に見失いつつある世界があるのだと思えます。

教育について語るのおおがましいことですが、舞踊は、学業の点数評価ではなく、人間の生きていく姿、その美しさを評価出来る教育であることも忘れてはならないと思えます。

「評」コレオグラファーの目

2006年11月19日
埼玉県立近代美術館にて
副会長 藤井利子

館外ガラス窓から叩きながら叫ぶ群と、館内のダンスを同時に組み込んだ演出が印象深い。外の自然や造型と関わりなくなったのは残念ですが、ダンサーの熱演を充分楽しめました。雨も又楽し!

彩の国ダンス・セッション 2006

—呼吸—

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
2006年12月17日(日)

ダンスセッション2006を終えて

担当理事 窪内絹子

2006年12月17日(日)15時より彩の国さいたま芸術劇場大ホールにおいて大きなテーマ「呼吸」を掲げ開催されました。出演者の方々、スタッフの方々、又協会の先生方の御協力、御支援のもとに盛大に公演を終えることが出来ました事を心から感謝申し上げます。

今回の公演は若い世代の振付家の参加も多々あり、ハワフルで、運営計画を立てる段階から参加型の公演を目指していただきました。協会側が全てお膳立てをするのではなく、大きな一つのテーマを決める時から、どういった作品を創ってみたいかと、衣装の色はどんなものをイメージしているのかを話し合ったり聞き取りにより自然に決まりました。公演までの過程でも照明下見の場所やリハーサル時間も協会の担当者が決めたものに従っていただく方法をやめ、参加者の方々に場所を譲って頂いたり、下見の順も場所と使用出来る時間を示した上で参加者の皆で話し合いをして頂き計画を立てるといった試みをする事により、より皆が参加し創り上げていく舞台なのだと思いをもち持つ頂ければと思つて居ました。ところが、私が想像していた以上に初参加の先生が動いて下さり、リハーサルの場所を見つけて下さり、今までではこちら側で決め時間には皆が揃わないとか、行けないといった理由で変更の多い事も多々ありましたが、そういったトラブルも多々ありましたが、その上で決める事ができました。ただ、たまたまなく皆で決まらせて下さりという様な形式は担当者の無責任ではないかと云うご意見を頂きましたが、私は協会の先生方もあくまでも事務局ではなく同じ道を歩む者として誘導してあげられたり、アドバイスをあげられたり、協力をしてあげられれば、もっとと本来の若い人の力が出て来るのではないかと思っています。若いうちに全て完璧にできる事の段取りより、失敗しても次に進むべき道を探るチャレンジを持つ事であり、失敗した時こそ協会が責任を持つ位の大きさがあって良いのではないかと思っています。これからはもっと色々な事を決めてくれるよう公演では無く、決めてくれるよう公演では無く、是非目指す公演であつても良いと思つて居りました。



撮影 / 池上直哉

「評」彩の国ダンス・セッション 2006 呼吸

舞踊評論家 立木輝子

昨年12月17日彩の国ダンスセッション2006が、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで開催された。埼玉県舞踊協会40周年を祝う今回は、「呼吸」という総タイトルの下で気鋭10人の振付家の作品が並び、充実した舞台に成長が確認された。第39回埼玉全国舞踊コンクールの上位入賞作品の披露に続いて作品上演された。

幕開きの「Beautiful Energy」(演出・振付/河上正子)は爽やかなバレエ作品。中国の弦楽器による軽快な音楽を使用、白い衣装のダンサーが放射状に登場、動きが広がっていく。青、赤と変わる照明が時間の経過を感じさせ、直線的な構成が特徴的。最後にはライオンダンス風に弾けて終わる。

「Garden 冷たげな月の下」(演出・振付/和泉伽留)は、前半、テクニクミュージック風の音楽にのったダイナミックなダンスに続いて、音楽がピアノに変わると、トウシューズの女性、男性二人のトリオを中心に踊りが流れていく。よく踊りこんでいるが、モダンバレエの動きが乖離しているためか、全体のイメージが収斂していかないのが難い。「コンチエリ」(構成/大岩静江 振付/大岩静江)は、木洩れ陽のような照明を浴び、透明なブルー(マダマニカット)パツパツ作風をバックに洗

「Garden 冷たげな月の下」(演出・振付/和泉伽留)は、前半、テクニクミュージック風の音楽にのったダイナミックなダンスに続いて、音楽がピアノに変わると、トウシューズの女性、男性二人のトリオを中心に踊りが流れていく。よく踊りこんでいるが、モダンバレエの動きが乖離しているためか、全体のイメージが収斂していかないのが難い。「コンチエリ」(構成/大岩静江 振付/大岩静江)は、木洩れ陽のような照明を浴び、透明なブルー(マダマニカット)パツパツ作風をバックに洗

「評」ダンスセッション2006の「呼吸」10の作品

理事 佐多達枝

まず作品の内容も多彩で全体とても活気ある会でした。只関係ある作品終ると帰ってしまう観客のいるのは残念です。

順を追って「Beautiful Energy」(演出/河上正子)さんの最初の2曲の選曲が私は疑問に感じました。リズムをも少し生かした振りがあれば、リズム後半横列になつてのところがとても素敵。ダンサーの品良く踊つて居りました。

「Garden 冷たげな月の下」(演出・振付/和泉伽留)は、前半、テクニクミュージック風の音楽にのったダイナミックなダンスに続いて、音楽がピアノに変わると、トウシューズの女性、男性二人のトリオを中心に踊りが流れていく。よく踊りこんでいるが、モダンバレエの動きが乖離しているためか、全体のイメージが収斂していかないのが難い。「コンチエリ」(構成/大岩静江 振付/大岩静江)は、木洩れ陽のような照明を浴び、透明なブルー(マダマニカット)パツパツ作風をバックに洗

「Garden 冷たげな月の下」(演出・振付/和泉伽留)は、前半、テクニクミュージック風の音楽にのったダイナミックなダンスに続いて、音楽がピアノに変わると、トウシューズの女性、男性二人のトリオを中心に踊りが流れていく。よく踊りこんでいるが、モダンバレエの動きが乖離しているためか、全体のイメージが収斂していかないのが難い。「コンチエリ」(構成/大岩静江 振付/大岩静江)は、木洩れ陽のような照明を浴び、透明なブルー(マダマニカット)パツパツ作風をバックに洗

「We Cant Speak」

演出・振付 市川澤代

「We Cant Speak」(演出・振付/市川澤代)は、透明なブルーの歌声(スタバト・マール)の波の音をバックに、女性たちが踊る。青い光から白の照明が美しく変化しながら、女性たちの群舞、印象的なソロを展開していく。時の移ろい、自然美への素直な感動を表現するにしても、驚きが欲しい。悲喜なのか、欲びなのか不明だ。

「奴さん」(演出・振付/佐藤良寛)は、名通り、奴さんと娘との淡い恋を描き、通りすがりの奴行列。倒れた娘を介護した奴と娘の娘のバド・ドウとなる。娘を踊った佐藤麻弥は、技術も確かで、所作も美しく注目された。奴のバレンティーン・バルテスも技量は確かだ。バド・ドウの振付は、純テクニクの動きで巧みに構成されている。難を言えば、奴の個性的なイメージに触発されたと思しき本作の場合、髪・衣装が奴の風体で伝えるのでなく、動きの面白さで個性を出した。

「Breath」(演出・振付/藤井香)は、日常の断片をダンスに仕立てた機知に富む仕掛け。部屋のなか、カシヤルな服装の娘たちが転がっている。独特の抑揚のある動き、ゴッホの効いたアシンメトリの動きを多用するが、あまり効果が発揮されていない。日常のなかの非日常、木霊感が伝わらない。もっとスパイスを効かせたシチュエーションが欲しい。

「Breath」(演出・振付/藤井香)は、日常の断片をダンスに仕立てた機知に富む仕掛け。部屋のなか、カシヤルな服装の娘たちが転がっている。独特の抑揚のある動き、ゴッホの効いたアシンメトリの動きを多用するが、あまり効果が発揮されていない。日常のなかの非日常、木霊感が伝わらない。もっとスパイスを効かせたシチュエーションが欲しい。

協会員催し物のご案内

2007年4月~10月

- 「アキコカンダ」モダンダンススタジオ発表会 4/7(土) 13:30 さいたま芸術劇場小ホール
- 048(645)6551 アキコカンダ
- 第15回 島村睦美バレエ研究所 大宮スタジオ発表会 4/15(日) 16:00 さいたま市市民会館 おおみや大ホール
- 048(641)6575 島村睦美
- 津田若松モダンバレエ研究所 53回生徒発表会 4/22(日) 13:00 埼玉県立近代美術館
- 048(866)9410 津田郁子 若松美
- 手島かつこ舞踊研究所 第35回定期公演 4/30(月) 振替休日 14:00 草加市中央公民館
- 048(927)9666 手島かつこ
- 新野正代舞踊研究所発表会 No.30 6/16(土) 16:00 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
- 048(685)6550 新野正代
- 佐々木祐子バレエスタジオ 第36回発表会 6/17(日) 15:30 坂戸市文化会館
- 048(474)5134 佐々木祐子
- 中村友美・上田仁美モダンバレエ 第34回発表会 6/24(日) 13:30 春日部市民文化会館 大ホール
- 048(734)5004 中村友美
- 第52回 石川須美子舞踊学園発表会 7/16(月) 15:30 練馬文化センター つじホール
- 03(395)3132 石川須美子
- マンナバレエ回公演「ジゼル」《有料》 8/28(火) 18:30 北とびあきくらホール
- 03(399)2998 マンナバレエ
- 「社日本バレエ協会関東支部埼玉ブロック」第20回記念「アキコカンダ」発表会 9/24(月) 振替休日 16:00 《有料》 さいたま市文化センター 大ホール
- 048(529)4883 プロダクション 事務所
- 048(886)6420 河上制作
- 「アキコカンダモダンダンス公演」《有料》 9/28(金) 19:00 9/29(土) 15:00 19:00 青山田形劇場
- 048(645)6551 アキコカンダ
- 山本教子バレエスタジオ 第15回発表会 9/30(日) 16:30 さいたま市文化センター 大ホール
- 048(859)3517 山本教子
- 国際親善文化交流「KUMAGAYA」/「INVERCARGILL」《有料》 10/6(土) 16:00 熊谷文化創造館
- 048(521)3500 野呂修平
- 第44回 井上美代子バレエスタジオ発表会 10/6(土) 16:00 草加文化会館
- 048(931)2374 井上美代子
- カヨイチカワダンススタジオ Performance vol.9 10/20(土) 15:30 さいたま市文化センター 小ホール
- 048(833)2507 市川華代

